

はちのへ商工ニュース[八戸商工会議所会報]

HACHINOHE 商工

News



- | | |
|---------|-----------------------------|
| 2P - 3P | インタビュー |
| 4P - 5P | はちのへ活性化プロジェクト |
| 6P | 八戸商工会議所 青年部 YEG DASH vol.04 |
| 7P - 9P | インフォ&レポート |
| 10P | QRヨミモノナビ |
| 11P | 月間スケジュール |



表紙 / インタビュー

株式会社イチカワファーム

代表取締役

市川 広也 さん

Data

株式会社 イチカワファーム

設 立: 1976年に岩廣牧場として会社設立。

2014年に株式会社化

住 所: 八戸市市川町下大川端52

事業内容: 肉牛肥育

<https://www.ichikawafarm.com/>



HP

都会の暮らしに疲れたとき、
ふと頭をよぎったのは、牛を愛でる父の姿。
息子のひとことをきつかけに、
自社ブランド牛の生産に挑戦し
「八戸秘姫牛」を世に送り出した市川さん。
地元・八戸に貢献したいという強い思いから、
子どもたちに畜産の魅力を伝え続けています。
牛たちが最優先の毎日を送りながら、
地域と未来に向けて走り続ける情熱の源には
いったい何があるのでしょうか。

HCCI

INTER
VIEW

#27

株式会社 イチカワファーム

代表取締役 Hiroya Ichikawa

市川 広也 さん

PROFILE

市川 広也 さん

1984年八戸市生まれ。八戸工業高等学校卒業後、東京へ。建築関係の仕事に9年間従事。2010年に家族で八戸にUターンを決意し、家業の道へ。2020年自社ブランド牛「八戸秘姫牛」出荷開始。2021年に代表取締役に就任。3人の子どもの父で、息子たちへのお弁当作りも欠かさない。





餌やり体験や職場体験なども積極的に受け入れ、
畜産の魅力を伝えている



日々の見回りは大切な日課。牛たちの些細な変化にも気づくことができる

食べる人の「おいしい！」が最高の喜び 畜産の魅力を伝え次世代へつなぐ

私は八戸市で「牛屋の息子」として生まれましたが、父からは「好きなことをやれ」と言われて育ったので、継ぐつもりもありませんでした。高校卒業後は東京で建築関係の仕事に就き、充実した毎日を送っていましたが、結婚・子育てを機に、次第に慌ただしい都会よりも田舎で子育てをしたいと思うようになりました。そんな折、父のケガをきっかけに「父が元氣なうちに技術を学びたい」と考え、27歳の時に家族で八戸にUターンしました。

転機は息子の何気ない一言

2019年、預託事業から自社ブランド牛の生産へ切り替え、2020年から「八戸毬姫牛」の出荷を開始しました。預託とは、他社から子牛を預かりマニュアル通りに育て出荷することです。相場に左右されないのが経営は安定しますが、良い結果を出しても評価されるわけでもなく、自分たちが生産した牛がどこで食べられているかも分かりません。目標もなくなったただ作業をしている状態です。当時保育園児だった長男から「パパの仕事以外の仕事がない」と言われました。せっかく後継者として戻ってきたのにという歯がゆさを感じ、「どうせやるなら自分たちの牛を育てたい」と、ブランド化への挑戦を決めました。とはいえノウハウがあったわけではなく、地域の畜産農家に話を聞いたり、商工会議所青年部(YEG)に加入し異業種の方々と交流したり、多くのアドバイスを受けながら、一歩ずつ進んでいきました。

牛たちとの対話から始まる一日

毎日、朝4時半から牛舎を見回り、餌やりをしながら牛の表情や様子を観察します。こちらが穏やかに接していると牛たちもそれに応えてくれます。ありがたいことに飲食店だけでなく、数年前から市内の小中学校の給食でも提供されるようになりました。「子どもが毬姫牛を食べて、牛肉が食べられるようになった」と言われたときは本当にうれしく、生産者としてやっていて良かったと感じました。食べた人の声が直接届く今の仕事は、何ものにも代えがたい喜びがあります。

「美味しい！」の聲が日々の活力

八戸の畜産業界を未来につなぐためには、子どもたちに畜産の魅力を伝える続けることが必要だと考えています。畜産は拘束時間が長く、休日も少ない大変な現場です。私自身、子どもの頃にそう感じていたので、子どもたちにも魅力的な仕事には見えないかもしれませんが、しかし、今の私の姿を見て、長男が「パパの牛を世界に売る仕事がいい」、次男が「育てる人になりたい」と言ってくれたのは、何よりうれしいことでした。

私が思うこの仕事のいちばんの魅力は、「おいしい」と言ってもらえること。その言葉を受け取れる私は青森一幸せな農家だと、誇りに思っています。これからも牛たちとまっすぐ向き合いながら、地域にそして次の世代に畜産の魅力を伝え続けていきたいです。



もう一つの日課は息子たちへのキャラ弁づくり



「八戸のおいしいお肉として、幅広い世代に食べてほしい」と市川さんは語る

中心街委員会

観光委員会

取引拡大委員会

今回は、中心街委員会と取引拡大委員会が連携したイベントのレポートと
観光委員会の開催予告・参加店募集を掲載します。

今回は中心街、取引拡大、観光の3委員会から



中心街委員会

はちのへホコテン

6月22日のはちのへホコテンは昨年に引き続き、八戸市私立幼稚園協会との連携企画「コドモホコテン」を実施。市内各園による「あそび体験コーナー」や「ステージ企画」「バス展示」に加え、今年はマチニワを第2会場として開催しました。また、三日町・十三日町ストリートにも子ども向けや親子向けの企画での出店者が昨年より大幅に増加し、世代を超えた多数の来場者で賑わいを見せました。今後も10月に予定する高校生ホコテンを含め、様々な方々のまちへの思いを実現する機会・場として、更に企画の充実に努めていきます。



第73回八戸七夕まつり 大盛況で終わる

7月18日から20日の3日間、第73回八戸七夕まつりが中心街(十三日町～三日町、ヤグラ横町)で開催されました。

今回、大型の七夕飾りを望む声を受け、新たな企画として「七夕やぐら」を設置しました。期間中は多くの来場者が写真を撮ったり、飾りの間をくぐりぬけたりしていました。また、昨年に引き続きの実施となる「ストリート七夕飾り」では市民や団体等が製作した思い思いの七夕飾り60個と企業の皆様から協賛いただいた七夕飾り55個を十三日町から三日町までの街灯間に展示し、八戸のメインストリートに彩りを添えました。

ストリート上では、初日に第55回八戸小唄流し踊りが行われた他、八戸理容美容専門学校のボディペイントや八戸学院大学のロスフラワーを活用した体験イベント、アレック情報ビジネス学院等の協力による短冊に願いごとを書く！などが行われました。

路上ステージでは、バンド演奏やダンスパフォーマンスが、マチニワでは八戸工業大学によるeスポーツ頂上決戦やBuyはちのへ きらきら緑日、七夕イルミネーションの展示が行われ、中心街全体が一体となるまつりとなりました。

はっちひろばでは保育施設や小中学校、介護施設などで製作された飾りを展示する「はっちひろば七夕飾り」の実施の他、まるごとこどもはっち夏祭りやお茶会が行われ、多くの家族連れでにぎわいました。



協賛広告企業一覧



今回は特別開催

はちのへホコテンは8/30土曜の夜開催！

8月ホコテンは昨年同様、16:00～21:00の夜開催です。今年は八戸市美術館マエニワを会場に、飲食とジャズライブを楽しむ屋外イベント「音楽のタベ」が同時開催。また、マチニワでは「ゲーム×地域交流」イベント、「BTR GAMING FESTIVAL Lv.5」が開催中です。夜のホコテンをお楽しみいただき、その後は横丁や飲食街へも是非足をお運びください。

●交通規制時間：16:00～21:00(イベント開催は16:30～20:30)

●会場：八戸市中心街ストリート(交通規制)～十三日町・三日町・ヤグラ横町エリア～



トライは続くよ!

はちのへ活性化プロジェクト

Trial topics

トライアルトピックス

vol.14

3つの委員会が
トライ中のプロジェクトをご紹介します。

地域が直面する課題解決に向けて立ち上げた「はちのへ活性化プロジェクト」。
中心街委員会、観光委員会、取引拡大委員会の3つの委員会が
各ミッション達成に向けてトライする事業について不定期でご紹介します。



取引拡大委員会

Buyはちのへ 「きらきら縁日ひろば」 の実施

7月19日と20日、八戸七夕まつりに併せ、八戸まちなか広場マチニワで、「Buyはちのへ きらきら縁日ひろば」を開催しました。会場では、夏祭り等で人気の射的や魚すくいなどの縁日ゲームを、八戸地域の文化や自然・特産品を題材に、幼児でも楽しめる5つのオリジナルゲームとして、実施しました。遊びという体験の中でまちの自慢(地域資源)に触れ合い、さらには、ゲームやボーナス抽選の景品も、南部せんべい、サバ・イカ・りんごなどの加工商品をプレゼントしました。また、会場には、天の川のイルミネーションや提灯、縁日のれんを設置するなど空間の演出もあり、幻想的な雰囲気でした。この縁日ゲームを通じて、市民の皆様にBuyはちのへ運動の趣旨を知っていただく、良い機会となりました。



観光委員会

今年も運行! 「はづのへハラツチェひなび」

7月31日、JR東日本の観光列車「ひなび(陽旅)」が昨年に引き続き八戸線で運行されました。当委員会では、榎谷 伸夫 氏の出演やこの日だけの特別なお弁当「ひなび幸福弁当」の手配に協力しました。

当日乗車された47名の方は、法霊神楽でのお出迎えや榎谷氏による南部弁での沿線紹介等、1日限定の特別列車をとても楽しんでいました。



観光セミナーを開催します!

当委員会では、9月17日に、(一財)VISITはちのへと共催で観光セミナーを開催します。

講師には、八戸市出身で長崎国際大学教授の城前 奈美氏をお招きします。

現在、参加者を募集中ですので、ご希望の方は、右記申込専用フォームよりお申し込みください。尚、セミナーの概要は、本紙に同封のチラシをご確認ください。

【本件に関する問合せ先】

八戸商工会議所経営支援2課(担当:大南)

TEL:0178-20-9274



申込フォーム



＜申し込みは
コチラから！＞

共にワクワクする 新時代へー。

委員会やいろんな事業に参加して、
活動の場を広げよう！
その先には、きっと素敵な仲間と
わくわくが待っています！



YEG会員募集中！

2025八戸港カッターレース開催報告

2025八戸港カッターレース無事終了！

6月15日、2025八戸港カッターレースが開催！目標であった60チームを超え全62チーム、約500人が参加し大盛況の1日となりました。当日は天気も良く、事故も無く、白熱のレースは時に笑いあいの楽しい時間でした。決勝に進んだ3チーム、優勝は「海上自衛隊第2航空隊-Odin02-」、準優勝は「無敵艦隊」、第3位は「蒼海艇団」という結果となりました。今回から実行委員会を新たに組織し、学生ボランティアの募集・参加や、八戸で働いている外国人だけのチームの参加など、新たな一面も見せることができました。

来年は更に良い大会となるよう進めてまいります。
ご参加、ご協力、また、ご後援、ご協賛いただいた皆様、
ありがとうございました！



合同委員会開催報告

6月合同委員会 開催



6月20日八戸商工会館にて令和7年度の6月合同委員会が開催されました！

全体会議では、各委員会や出向者の皆さんから、事業報告・今後の活動予定が発表され、全会員で八戸YEGの活動を共有しました。

また、今回のインフォメーションタイムでは「会員拡大」をテーマに岡本会長から話してもらい、「なぜYEGに入ったのか？」「このまちで何ができるのか？」改めて入会の意義を共有するとともに、これから会員になるであろう方々へ我々の思いを伝えることができました。

その後、各委員会ごとに分かれ会議を行い、今後予定している事業に向けて熱い話し合いが進みました。

次回の合同委員会は8月。それまでに各委員会からの新しい報告が沢山聞けることを楽しみにしています！

日本YEG第44回東北ブロック大会

日本YEG 第44回 東北ブロック大会 山形つるおか大会

9月12日～13日に山形県鶴岡市にて「日本YEG第44回東北ブロック大会山形つるおか大会」が開催予定です。

八戸YEGのメンバーも参加者募集をし、大勢で参加します。

普段会えない各地域のYEGメンバーと絆を深め、鶴岡の地を満喫してきたいと思います！



Report

令和7年度総合陳情

八戸港の整備促進等を要望

八戸市、八戸商工会議所並びに関連団体代表は、7月9日に青森市の国土交通省青森河川国道事務所及び青森県県土整備部、7月14日に仙台市の東北地方整備局、7月17日に国土交通省及び地元選出国議員を訪れ、陳情を行いました。本陳情では、①八戸港の整備促進と国際拠点港湾の指定について、②「八戸～青森間」並びに「八戸～下北間」における高規格道路網の整備・機能強化について、③都市計画道路の整備促進に係る予算の確保について、④国土強靱化を実現するための防災・減災対策の充実について、⑤三陸沿岸道路の機能強化について要望しました。

今後も関連機関と連携して、地域経済の発展や産業の振興に資する活動を続けてまいります。



Report

青森県商工会議所連合会

第72回 会員大会を開催

令和7年度青森県商工会議所連合会 第72回会員大会が、7月2日に八戸グランドホテルで開催されました。

会員大会には県内7商工会議所の正副会頭等が参加し、青森県への要望として、少子化対策や若者の地元就職・定着の促進、街づくりの推進、観光振興など55項目が採択されました。八戸商工会議所からは、八戸市が策定した「市中心街ストリートデザインビジョン」の実現に向けた国道340号三日町・十三日町区間の早期整備について等、多数の要望をしました。

最後に、青森県商工会議所連合会 倉橋会長(青森商工会議所・会頭)が奥田副知事に要望書を手渡しました。



8サポ創業者の紹介

2024年12月、50歳の誕生日に「介護福祉タクシーステッキ」を八戸市で創業しました。車いすやストレッチャーに対応し、高齢者や障がいのある方の通院・買い物・外食などの外出をサポートしています。「ステッキ」という名前には、“支えとなる存在”をイメージし、親しみやすく覚えやすい名称にしました。福島県須賀川市出身で、新古書店チェーンに約20年勤務した後、介護業界に転身。八戸の自然と人の温かさに惹かれて移住し、勤務先が売却されたことをきっかけに独立を決意しました。

創業準備中には、右も左も分からない状況のなかで「8サポ(はちのへ創業・事業承継サポートセンター)」の存在を知り、相談に足を運びました。当時は何度も通い詰め、「最多訪問記録」と冗談めかして言われるほど。8サポ専門アドバイザーの淵沢さんと一緒に作り上げた事業計画は、自分の想いと現実がしっかり詰まった、血の通った内容になりました。事業に迷いや壁を感じたときも、8サポでの対話が方向性を確認する大きな支えとなりました。

開業後は、午前中に通院依頼が集中するなど時間帯の偏りや、ネットやSNSでは高齢者に情報が届きにくいという課題に直面しました。必要な人にサービスを届けるには、地道な対面での関係づくりや口コミの力が不可欠だと実感しています。

現在は介護保険外の自費サービスにも注力し、「ちょっと手伝ってほしい」「誰かに付き添ってほしい」といったニーズにも柔軟に対応することで、介護の枠にとらわれず頼れる存在を目指しています。

今後は、同じ価値観を持つ仲間とチームをつくり、地域に根ざした活動をさらに広げていきたいと考えています。そして、自身と同じく就職氷河期を生き抜いた世代に向けて、「こういう働き方もある」という選択肢を示していけたらと思います。また、最近ではスケジュール管理や予約管理が簡単にできるアプリなど便利なツールも増えており、開業へのハードルは以前よりも確実に下がっていると感じます。

そうした環境を活かしながら、8サポを通じて一歩踏み出す人が増えていくことを願っています。



週1回
相談時間を
20時まで延長

月1回
休日相談を
実施

はちのへ創業・事業承継サポートセンター(8サポ)

八戸市堀端町2-3 八戸商工会館1F
開設時間(月～金) 9:00～12:00、13:00～17:30
☎0178-51-9593 ※ご相談の際は事前にご予約をお願いします。



8サポHP



介護福祉タクシー ステッキ

代表: 吉田京正
八戸市長苗代4丁目3-7-2

TEL: 080-6110-6917

24時間対応可能(要予約)



Instagram

会費納入

会費未納の方は 8月27日までに、当所総務課にご持参頂くか、最寄りの金融機関よりお振込み下さい。

議員職務執行者紹介

東北電力ネットワーク(株)八戸電力センター 2号議員



八戸製錬(株)八戸製錬所 2号議員



新入會員紹介

部会	事業所名	代表者名	業種
生活	日本たばこ産業(株)青森支社	坂井 準二	たばこ卸売業
理財	(株)山本不動産鑑定	山本 敏浩	不動産鑑定業
理財	(株)カダルコンサルティング	鹿糠 大樹	コンサルタント業
理財	北山管理会計(同)	北山 光秀	コンサルタント業
建設	村エーサービス	村上 直也	電気工事・内装工事業
建設	ファブリカッソ	河村 一	建設業
水産	東田釣漁具店	東田 司	漁具用品店
運輸	(株)グローバル・アソート	恩田 直樹	中古自動車小売業
運輸	(株)クリア保険サービス	石橋 裕彦	車両の運搬・修理・整備及び販売
観光	DTプロジェクト(株)	荒瀬 潔	飲食業
観光	(株)YOKUNALU	沢野 広和	鍼灸整体
観光	GOSSO(株)	藤田 建	飲食業
観光	(株)北耀学舎	鏡 高志	学習塾
情報	メディアワークス(株)	笹口 知弘	WEBマーケティング業
情報	Production WAVE	泉山 英俊	映像制作業
情報	岡ビジネス.com	尾崎 武	AI活用支援業

情報・医療福祉部会

第一部では、(株)コネクトグローバル 代表取締役の向井誠仁氏より、「DXの第一歩を踏み出すために」のテーマで、DXの基本から、具体的な取組についてご講演いただきました。第二部では、(株)テクノル 営業本部DX推進部の松谷光洋氏より、「ノーコード・RPAではじめる簡単DX」のテーマで、実際の活用を見据えた、実践的なご講演をいただきました。



求職者情報

合同 番号	希望職種	学歴	資格	経験年数	希望賃金 (万円)
1	営 業	高校	普	営業 約20年	25
2	水産加工	高校	普、フォークリフト	水産加工 約8年	15
3	児童指導員	大学	普(AT) 中学、高校教諭	高等学校教員 約7年	時給1100円
4	大 工	短大	普、高所、酸硫 安全衛生責任者	大工 約3年	20
5	一般事務	専門	普、日商簿記2級	一般事務 約6年	17

リクエスト(求人情報提供依頼)の申込方法と注意点

お問い合わせ ハローワーク八戸 〒031-0071 八戸市沼館4丁目7-120
TEL.0178-22-8609
【当情報の問合担当】紹介第一部門（41名） 【求人募集受付担当】求人企画部門（31名）

Information

八戸高等支援学校

八戸高等支援学校
実習パートナーシップ募集のお知らせ

青森県立八戸高等支援学校は、知的障害特別支援学校で、毎年、卒業生の30～40%が市内事業所等に就職しています。同校では、働く体験を通して職業生活に必要な力を身に付け、自らの適正を見据えることを目的に「産業現場等における実習（現場実習）」などにご協力いただけるパートナーシップ募集企業を募集しています。ご協力いただける場合は、下記よりお申込み・お問合せください。

<ご協力いただきたい内容>

- 1 産業現場等における実習（インターンシップ）
生徒が一定期間、実際に仕事を体験させていただきます。
- 2 企業見学
企業等に出向き、設備や働いている社員の方を見学させていただきます。
- 3 外部講師派遣（先輩の講話等）
社会人としての心構えや進路決定の経緯、今後の目標などを生徒に伝えていただきます。



●お問合せ
青森県立八戸高等支援学校 進路指導部
TEL.0178-32-2854

お申し込みはこちら▶



Information

講演会情報

令和7年度 八戸市自殺予防講演会

今年度の自殺予防講演会のテーマは、自殺要因の一つであり意外と誰にでも身近な病気と言われている**依存症**です。

「お酒を飲むことで、ストレスや不安が解消される。」

「イライラする気持ちをゲームで発散する。」

こうした経験がある、周囲にいるという方も多いのではないのでしょうか？
日々のストレスを自分なりに解消する方法があるのは素敵なことです。
でも、もし気づかないうちにその行為がエスカレートしてしまったら…？

あなたと、あなたの大切な人の「こころの健康」を守るために
できることを一緒に考えてみませんか？

<講演内容>

- 演題 「これって依存症？～身近な依存症について知ろう～」
- 講師 青森県立精神保健福祉センター
所長 田中 治（たなか おさむ）氏
- 日時 令和7年10月5日（日）13:30～15:00（受付13:00～）
- 場所 八戸市総合保健センター 1階大ホール
〒031-0011 八戸市田向3丁目6番1号
- 主催 八戸市保健所
- 申込方法 TEL.0178-38-0717
（保健予防課 保健福祉グループ）
または申込フォームからご予約ください。
- 申込期間 令和7年9月8日（月）
～令和7年10月1日（水）



八戸市
ホームページ



Information

第7回経済交流サロン

八戸市と当所9部会議員による
第7回経済交流サロンが開催

7月29日、八戸市と当所9部会議員による「経済交流サロン」が開催されました。第7回目の今回は水産部会の議員6名が出席しました。

出席者からは「企業が行っている外国人労働者への住居や交通手段など生活全般の支援に加え、市によるさらなる支援が必要」「縮小した八戸の水産業界の根本的原因を突き止め、その対策を講じてもらいたい」「昆布養殖復活への支援を願いたい」「水産業の枠組だけでなく、食品製造業や製造業といった枠組での情報交換の場があるとありがたい」など、様々な意見・質問が出ました。次回は工業部会とのサロンが8月28日に開催されます。



Information

介護保険制度について

介護離職を未然に防止するため、
介護保険制度について学んでみませんか？

企業や町内会などが自主的に開催する勉強（研修）会などに担当職員が伺い、介護保険制度についてわかりやすく説明します。

介護保険制度を
学ぼう！



- 対象 町内会や老人クラブなどの地域コミュニティ団体及び企業など
- 費用 派遣は無料（施設使用料などは団体の負担）
※会場は開催する団体でご用意ください。
- お申し込み・お問合せ
八戸市介護保険課
TEL.0178-43-2287 FAX.0178-47-0732
E-mail: kaigo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸市
ホームページ



ディスカバリーコラム

「世界のホンダをつくった本田宗一郎」

きつとラーメンの屋台の主人は、あまりの事にあぜんとしただろう。突然やってきた女性がありったけのラーメンを買っていったからだ。女性の名は本田さち。それを頼んだのは夫の本田宗一郎だった。

宗一郎は研究熱心で、毎日夜中まで車やバイクの新技术を考えていた。だがその夜、外のチャルメラの音が気になって集中できない。もちろん相手も商売。だからラーメンを全部買い取らせたのだ。

そんな宗一郎にある時、高松宮が「発明や工夫は、ずいぶん骨の折れる仕事だろう」と同情してくれた。46歳で宗一郎が藍綬褒章を受章したときのことだ。けれど宗一郎は「殿下はそうお思いでしょうが、私にとっては好きでやっているのですから全部苦労とは思いません。(略)人さまが見れば苦しいようでも本人は楽しんでいるのです」(『夢を力に』本田宗一郎著 日経ビジネス文庫)と答えた。

強がりではなかった。大きくなったら車をつくるという夢に向かって進んでいる道のりでは、どんなことも辛いとは思わなかった。ただ、営業や経理は苦手だった。そうした不得手は、人に任せるのが宗一郎の流儀。だから会社の経営は、副社長の藤澤武夫に一任し、宗一郎は開発の仕事だけにまい進してきた。

技術の開発に関して、宗一郎は他人のまねを極端に嫌った。部下が新しいマシンを完成させるたび、「どこが他社と違うのだ」と真っ先に聞いた。

宗一郎は言う。「造物主がその無限に豊富な創作意欲によって宇宙自然の万物を作ったように、技術者がその独自のアイデアによって文化社会に貢献する製品を作り出すことは何物にも替え難い喜び」(前掲書)だと。そんな技術者魂が、世界的にヒットしたスーパーカブ号や独自の低公害エンジン「CVCC」の開発へとつながったのである。

宗一郎は常々社員に「会社のためばかりに働くな。自分のために働け」と語った。結果としてそれが、会社全体を良くするという信念を持っていたからだ。

宗一郎は「自分の好きなものに打ち込めるようになったら、こんな楽しい人生はないんじゃないかな。そうなるには、一人ひとりが、自分の得手不得手を包み隠さず、ハッキリ表明する。石は石でいいんですよ、ダイヤはダイヤでいいんですよ」(前掲書)、それを適所適材に配置するのが上司の仕事で、「そうなりや、石もダイヤもみんなほんとうの宝になるよ。企業という船にさ、宝である人間を乗せてさ、舵(かじ)を取るもの、櫓(ろ)を漕(こ)ぐもの、順風満帆、大海原を、和気あいあいと、一つ目的に向かう、こんな愉快な航海はないと思うよ」(前掲書)と語った。社員がやりたいことをやれる企業、これを自社の理想としたのだ。そんな職場だったからこそ、ホンダは世界的な企業に成長できたのだろう。

歴史作家

河合 敦 かわい・あつし

東京都町田市生まれ。1989年青山学院大学卒業、2005年早稲田大学大学院修士課程修了、11年同大学院博士課程(教育学研究科社会科教育専攻(日本史))満期退学。27年間の高校教師を経て、現在、多摩大学客員教授、早稲田大学非常勤講師。講演会や執筆活動、テレビで日本史を解説するとともに、NHK時代劇の古文書考証、時代考証を行う。第17回郷土史研究賞優秀賞(新人物往来社)など受賞。著書に『薦屋重三郎と吉原』(朝日新聞出版)、『禁断の江戸史』(扶桑社)ほか多数。

ディスカバリーコラム
2025年8月版八戸商工会議所WEBサイト
「ディスカバリーコラム」

商工会議所LOBO調査

2025年7月版

日本商工会議所LOBO調査公式 WEBサイト



LOBO調査は全国各地商工会議所が参加する全国規模の早期景気観測調査です。

青い森しんきん Report

2025年6月版

八戸商工会議所WEBサイト
「青い森しんきんReport」

八戸市の漁業・水産加工業、建設業、鉄鋼業、個人消費における最新動向をお伝えします。

当所および関連団体の

主なスケジュール

2025

8.23^土-9.22^月

① 下記掲載情報は、さまざまな事由により変更、追加または中止になる場合があります。

8/23^土 大島理森氏桐花大綬章受章祝賀会8/26^火 中心街委員会8/27^水 事業承継セミナー8/28^木 工業部会／経済交流サロン8/30^土 はちのへホコテン9/8^月 常議員会・議員総会9/11^木 理財部会／総会9/11^木 水産部会／総会9/12^金 建設部会／総会9/16^火 生活文化商業部会／総会9/16^火 観光サービス部会／総会9/17^水 観光セミナー9/17^水 運輸交通部会／総会9/18^木 中心街委員会9/19^金 工業部会／総会9/22^月 情報・医療福祉部会／総会9/22^月 食品商業部会／総会

8

月は「電気使用安全月間」です。



夏は肌の露出が多くなり汗もかくことから、電気が流れやすくなります。
また、暑さにより注意力が散漫になりがちのため、感電事故が多くなる傾向にあります。

そこで、経済産業省では、毎年8月を「電気使用安全月間」と定め、関係団体の協力のもと電気に関する安全運動を展開し、広く電気事故防止を呼び掛けています。電気安全に心がけましょう。



あんぜん、きづく、あんしん

東北電気保安協会



濡れた手でコンセントや
プラグに触れるのはやめましょう。



アクサ生命

「人生を経営する[®]」ことが、 あたりまえの社会へ。

ライフマネジメント[®]で、
すべての人に自分らしく生きる自信を。

「人生を経営する[®]」。
まだあまり聞き慣れない言葉かも知れません。
でもこの考え方こそが、人々が自分らしく生きるための
最適解だとアクサは信じています。

正解が見えにくい今の時代だからこそ、まず人生の目的を明確にする。
そうすることで、今やるべきことや将来へのビジョンが見えてくる。
迷いや不安が晴れていく。

アクサはライフマネジメント[®]を通して、
人々が自分の「人生を経営する[®]」お手伝いをしていきます。

すべての人々のより良い未来のために。
私たちはみなさまの大切なものを守ります。



アクサ ライフマネジメント

検索

<https://www.axa.co.jp/life-management>

「ライフマネジメント[®]」および「人生を経営する[®]」はアクサ生命保険株式会社の登録商標です。

AXA-A2-2410-0659/9WD

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ（弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など）を共済制度／福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社 青森支社 八戸営業所 〒031-0076 八戸市堀端町2-3 八戸商工会館5階 TEL 0178-47-0316



八戸商工会議所
公式WEBサイト

〒031-8511 青森県八戸市堀端町 2-3 TEL 0178-43-5111 FAX 0178-46-2810



八戸商工会議所

HACHINOHE CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY